

令和2年第2回定例会一般質問通告書

- 通告1番 高橋 兼次 議員
質問方式 一問一答
質問事項 町有財産の管理について
質問相手 町長
質問の要旨
- 1 防災集団移転促進事業により買取りをした被災跡地の今後の利用策と、防集団地空区画の対応策は。
 - 2 東日本大震災特別家賃低減事業の期間終了が間近となっているが、収入超過者の退去が増えることにより空き戸の発生が予想される。また、収入超過者は若い世代に多く該当すると思われるため、災害公営住宅のコミュニティや自治会運営に支障をきたすことも懸念される。そうしたことから、災害公営住宅の使用料と入居条件等の見直しが必要と思われるが、考えは。
 - 3 町道の管理について、各地区からの要望されている町道の整備及び復興事業により破損した箇所への復旧に対する考えと整備計画を伺う。
- 通告2番 星 喜美男 議員
質問方式 一問一答
質問事項 新学習指導要領について
質問相手 町長・教育長
質問の要旨
- 学習指導要領が10年ぶりに改訂され、4月から全国の小学校で全面実施される。保護者や教育現場からは不安の声が、また、専門家などからは様々な課題、問題点が挙げられている。そこで、次の点を伺う。
- 1 「道徳教育」は、どのように変わるのか。
 - 2 「外国語科」への、対応と体制は万全か。
 - 3 「プログラミング教育」への、対応と体制は。
 - 4 「GIGA スクール構想」への、対応は。
- 通告3番 倉橋 誠司 議員
質問方式 一問一答
1 件目
質問事項 宮城県宿泊税について
質問相手 町長
質問の要旨
- 2月8日付け新聞に宿泊税県町村会「賛成」の記事があった。
記事には「佐藤 仁南三陸町長は賛意を表明」とある。経緯と真意は。
- 2 件目
質問事項 東京2020オリンピック・パラリンピックについて
質問相手 町長・教育長
質問の要旨
- 7月から東京オリンピックが開催され、8月からパラリンピックが開催さ

れる。

- 1 南三陸町での聖火リレー、イベントの企画内容は。
- 2 大会期間中の関わり方とイベントは。
- 3 開催後の展開は。
- 4 教育現場での取り組みは。

通告 4 番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 豪雨災害最小限対策は

質問相手 町長

質問の要旨 昨年も日本各地に於いて、地球温暖化による豪雨災害が多く発生している。わが町でも大震災を除いて、数十年ぶりの川の氾濫、道路の決壊等の被害が発生した。

今後もしこりうる豪雨災害を最小限に食い止める為の対策を講ずるべきと思うが、町の考えは。

2 件目

質問事項 耕作放棄対策は

質問相手 町長

質問の要旨 昔から国は農業を大事にしてきた。近年は高齢化と共に後継者不足もあって、農業を継続しにくくなっている現在、今年の台風により農地被害が多くみられ、原形復旧の負担が大きいことから、田・畑の作付けを断念する方もいると聞いている。

農家に元気を取り戻していただくために、国、県の支援を十分取り入れた行政の応援が今こそ必要と思うが町の考えは。

通告 5 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 スポーツで体力向上、町づくり

質問相手 町長・教育長

- 質問の要旨
- 1 保育段階での外遊び、運動への取り組み。
 - 2 小・中学校での体力向上への取り組み。
 - 3 テックボールの普及での町づくり。
 - 4 ベースボール5の普及。
 - 5 スクールバスの見直しでの体力向上。
 - 6 ボルダリングでの体力向上。

2 件目

質問事項 トイレでの町づくり

質問相手 町長

- 質問の要旨
- 1 バスのような移動式のトイレの導入での町づくり。
 - 2 ワカメ煮をしている方の旧市場付近へのトイレ設置。
 - 3 ペット用トイレを道の駅や祈念公園などへの設置。

3 件目

質問事項 道の駅の運営方法、整備について

質問相手 町長

- 質問の要旨
- 1 運営・管理の方法。
 - 2 現在の産直店の運営・経営の見直し。
 - 3 バスターミナルの整備、活用方法。

通告 6 番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

質問事項 環境行政について

質問相手 町長

- 質問の要旨
- 1 ごみ・廃棄物処理について
 - ・ ごみ袋有料化移行後の現状について伺う。
 - ・ 資源ごみの収集、処分状況について伺う。
 - ・ 実証実験として実施した、めぐるステーションの検討状況について伺う。
 - ・ リサイクルセンターの整備に係る基本構想の内容について伺う。
 - 2 バイオマス事業について
 - ・ 生ごみの収集状況と課題について伺う。
 - ・ 木質ペレット事業の進捗状況について伺う。
 - 3 エコタウンを目指している町として、リサイクルセンターをはじめバイオマス関連施設を防集事業で買取りした活用方法の決まっていない市街地に整備すれば町民の意識醸成につながり、また、観光資源の一つとしても効果を発揮すると考えるが、町の考えを伺う。

通告 7 番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 シルバー人材センターの早期の再スタートを

質問相手 町長

- 質問の要旨
- 1 南三陸町の高齢化率は、県下でも上位の「36%」を超えている。
保健福祉課や地域包括支援センターでは、いきいき100歳体操など高齢者の健康維持に取り組んでいるが、高齢者の生きがいつくりの環境整備の現状について伺う。
 - 2 老後の生活に2千万円が必要との政府の発信は我が町には当てはまらないものの、全国の高齢者が老後に大きな不安を抱えている。
そうした中、多様化した生活環境において老々介護の増加、逆に高齢の親が子供の面倒を見る「8050」問題など、70歳から75歳と年金受

給が後退する中で、高齢者は働けるうちとは収入確保を考えている。

そのことに対する町の取り組みや対策について伺う。

- 3 シルバー人材センターが再スタートすることで、高齢者の働く生きがい
が得られ、その収入は生活の糧となり、明るい安心した老後につながるため
早期に再スタートすることを望むが、町の考えを伺う。

2 件目

質問事項 2年間の婚活事業の成果・結果と課題は

質問相手 町長

質問の要旨 1 昨年度から婚活事業を実施し、仙台で南三陸町の食材を使った料理婚活

パーティー事業が行われたが、その結果と反省点は。

- 2 今年度から結婚相談事業者に委託し、ネットによる結婚希望者にお付き
合いを申し込む形のパートナー探しを5名が進めていることと思うが、ま
だ数か月ながら新たな事業に対する手ごたえは。

- 3 来年度も継続事業として5名が挑戦するものと推察する。事業の募集人
数は5名で、それを超える申し込み状況だったが、参加人数拡大の考えは。

- 4 これまでの事業展開を通して学んだこと、成婚の達成に向けた新たに加
える内容は。

- 5 町と結婚相談事業者との密接な情報交換で、成婚目標を掲げているのか。

通告8番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問事項 本町における「働き方改革」の現状と課題について

質問相手 町長・教育長

質問の要旨 「働き方改革」(2019.4月施行)が世間に認知され始め1年が経とうと
している。企業と行政機関という違いはあれ、「働き方改革」は避けては通
れない道である。あらゆる分野で取り組みが本格化する中、当町に於いて
も担当部局ごとの改善内容が異なることを踏まえ、意図や目的を明確にし、
様々な協議検討を重ね、取り組みが進められていると認識している。

多岐にわたる幅広い取り組みの中、安心安全な子育て環境に焦点を当て
「働き方改革」の現状と課題について伺う。

- 1 保育現場の現状と課題について

- 2 教育現場の現状と課題について

通告9番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問事項 生涯学習のさらなる充実を

質問相手 町長・教育長

質問の要旨 町の生涯学習の拠点として生涯学習センターが建設されてからもうすぐ
1年となるが、FSC全体認証を受けたこと、画期的なデザインであること
も相まって、多くの人に利用されているが、さらなる充実のために以下の

点について伺う。

- 1 これまでの利用者数と年間の維持管理経費は。
- 2 多くの支援を受けて建設されたが、それに対する感謝を表すための取り組みは。
- 3 使用に関するルール、使用料徴収にかかる事務手続きは、利用者にとって使いやすいものになっているか。
- 4 さらなる生涯学習の充実に向けた取り組みは。

通告10番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 インフルエンザ流行対策について

質問相手 町長・教育長

質問の要旨

- 1 歌津中学生のインフルエンザ流行により学校閉鎖されたが、その後の対応策を伺う。
- 2 町内の小・中・高校の感染等心配だが、どの様な指導をされているのか伺う。
- 3 国内でもコロナウイルス感染が毎日報道されている。
今後、これに対する管内医師会や県、厚生労働省等、情報共有や町民に対する広報が必要と思うが、対策を伺う。

2 件目

質問事項 環境対策について

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 ゴミの減量化の取組状況と今後の対策は。
- 2 ゴミ袋変更によるメリットとデメリットは。また、この背景の経緯と費用対効果を伺う。
- 3 気仙沼市への搬入今後の見通しを伺う。
- 4 クリーンセンターを新たなステーションとしての具体の政策を伺う。

3 件目

質問事項 宿泊税について

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 人口減少に伴い、観光振興が大であるが、知事が新しく宿泊税導入を決定したが、当町としての考えを伺う。
- 2 このことは、観光産業に於いてはお客様は他県に流失し、県内宿泊者の減少となるが、どの様な対策を考えているのか。修学旅行生も対象となると危惧される。
- 3 町村会会長として、知事に賛同要望書を渡しているが、真意について伺う。